

住民の声で政治を変えよう会

設立趣意書

日本の政治がどんどん悪くなっています。

安部政権下では森友学園問題、加計学園問題、桜をみる会問題、そして検察官定年延長問題など、つぎつぎと問題が発覚しました。「公文書の改ざん・破棄」「権力の私物化」「身内優遇」の政治、国民をないがしろにする政治を許すことはできません。

さらに菅政権ではコロナ禍というパンデミック下でありながら、東京オリンピック・パラリンピックを強行しようとしています。新型コロナウイルス感染症の治療で医療現場はひっ迫し、救える命が救えない状況になっています。三度の緊急事態宣言の発出で多くの飲食店が倒産・廃業の危機に瀕しています。

またワクチン接種においては、接種を担う医療従事者の不足や集団接種会場の不足が課題としてあげられます。65歳以上の高齢者接種の予約においては、電話がかかりにくかったり、ネット回線がパンクするなど、行政側の準備不足も露呈しました。64歳以下の接種予約のスケジュールリングの目途が立っていない自治体も多いのが現状です。このような状況下で国民の命と引き換えに開催するオリンピックなど許されるはずがありません。

もはやこのような状況を看過することはできません。いまこそ国民ひとりひとりが、そして住民ひとりひとりが、政治を変えるという強い決意のもと、行動を起こすことが必要です。

この局難において、真っ先に影響を受けるのは国民であり、住民であり、庶民です。そこでわたしたちはまず、わたしたちが暮らす地元、日常生活と密接する地域からの改革を目指し、この会を設立します。

わたしたちは以下の行動を起こします。

1. 税金の使われ方を監視し、税金の不公正な使われ方を正します。
2. 行政を監視し、住民のためにならない行政活動を正します。
3. 政治を変えるのは有権者の1票1票であることに鑑み、有権者に投票行動を促します。特に若い世代の投票率向上を目指します。
4. わたしたちが支持する議員または候補者を通じて、住民の声を政治に反映させます。
5. 庶民の生活を豊かにし、庶民の生活を守るため、庶民の目線に立った行動を目指します。

2021年6月15日

住民の声で政治を変えよう会

代表 青木 栄二